

取扱説明書 Ver 1.00

TP-272-IV

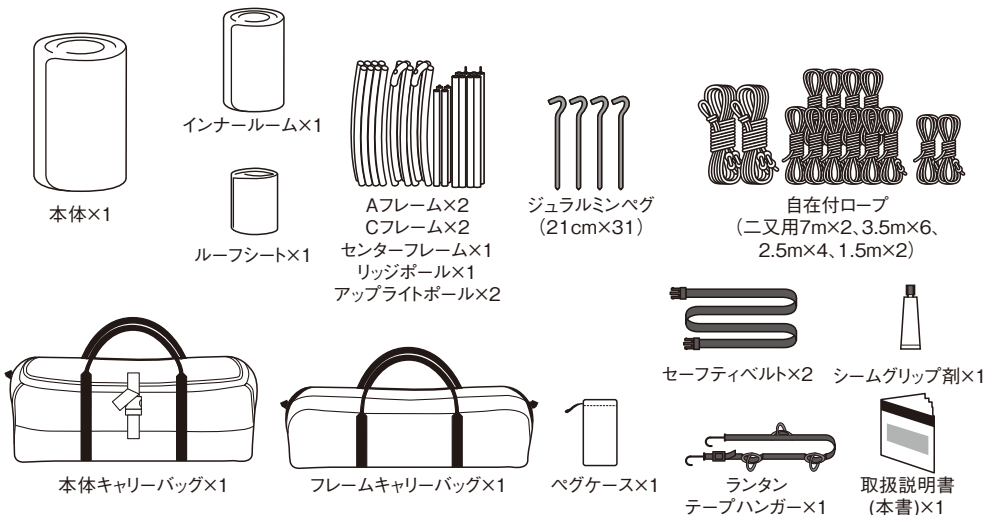
パーフェクトランドロック アイボリー



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

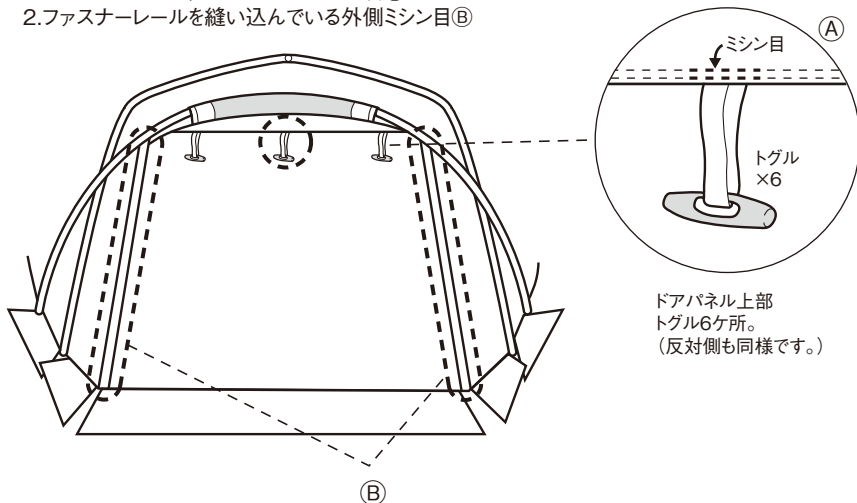
セット内容 ※ご使用の前に、付属品が全て揃っているかを確認してください。

■セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、予備のロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



■下記の場所は製品構造上シーム処理ができない為、水が侵入する可能性があります。下記の場所及び浸水が確認された箇所の外側ミシン目にシームグリップ剤を塗布し糸目からの水の侵入を防いでください。

1. ループやトグルを縫いとめているミシン目(A)
2. ファスナーレールを縫い込んでいる外側ミシン目(B)



⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。
- スノーピーク製の石油ストーブ・石油こんろ(KH-001、KH-002、KH-100)をご使用する際は、必ずシェルターの窓を開けた状態でご使用ください。密閉された空間での石油ストーブ・石油こんろの使用は重大な事故の原因となり大変危険です。

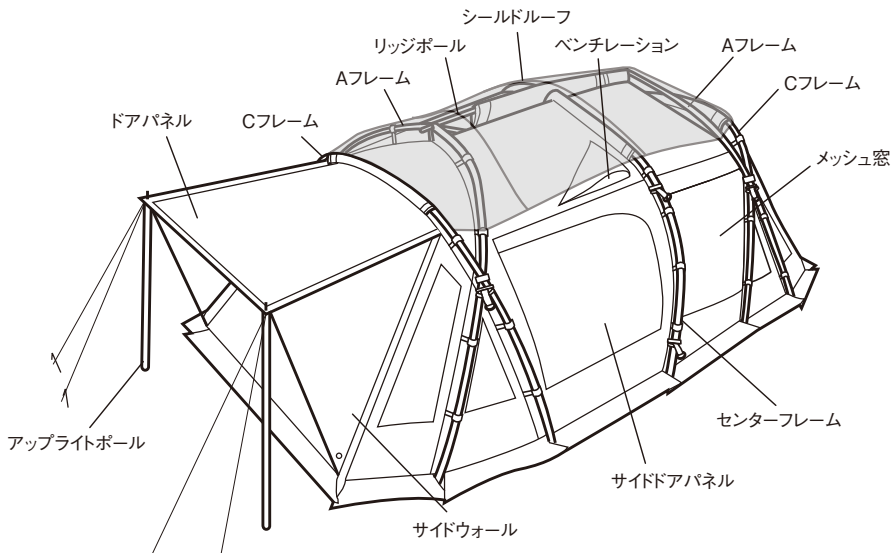
⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に本製品を点検し、各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 角のある石や折れた木の枝など鋭利なもの無い平坦な場所で使用してください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故に繋がるおそれがありますのでフレームやポールを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- 本製品は非自立型のシェルターです。ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 薬品などが付着するとPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 樹液が付着するときにに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- シェルター、インナールーム内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

各部の名称

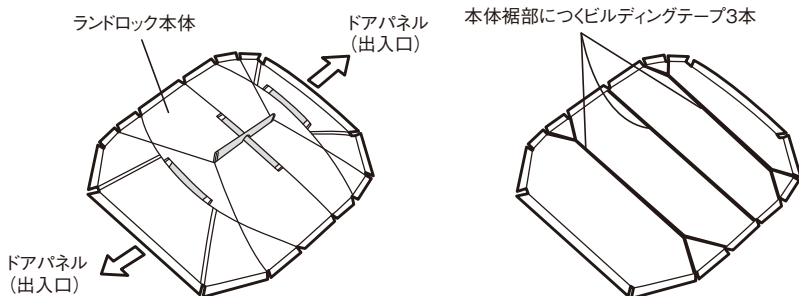


設営の手順

【警告】ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。

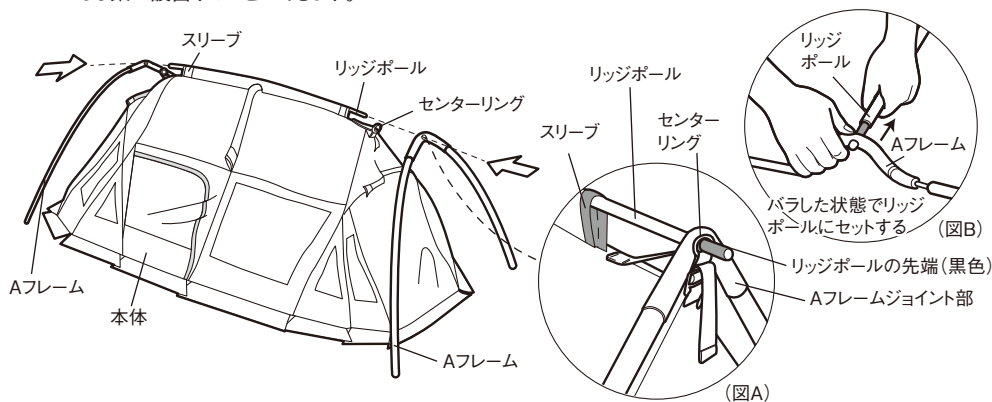
より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

- ① 本体を設営しようとする場所に広げます。その時2つある出入口用ドアパネルの向きを考慮してください。
注)ビルディングテープ3本ともバックルが接続されている事確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。



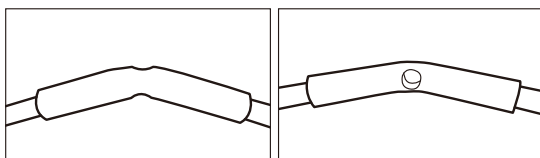
- ② 初めに、リッジポール(先端が黒色)を真中のスリーブに入れてください。次にAフレーム(一節目の差込部が黒色)ジョイント部の向きに注意してリッジポールを差し込んでください。リッジポールの端がAフレームジョイント部の最後までしっかりと入った事を確認し、センターリングを奥まで押し込む様に入れて引っ掛けてください。(図A)この時点ではセンターリングのテープはテンションを掛けずにゆるめておいてください。次に反対側のAフレームにもリッジポールを差し込んでください。

注) Aフレームをリッジポールにセットするときには、Aフレームを全て繋げてからセットせずに、左右上の1本以外はバラしたままリッジポールにセットしてください。(図B) セットしてから立ち上げることで接合部へのストレスを減らし楽に設営することができます。



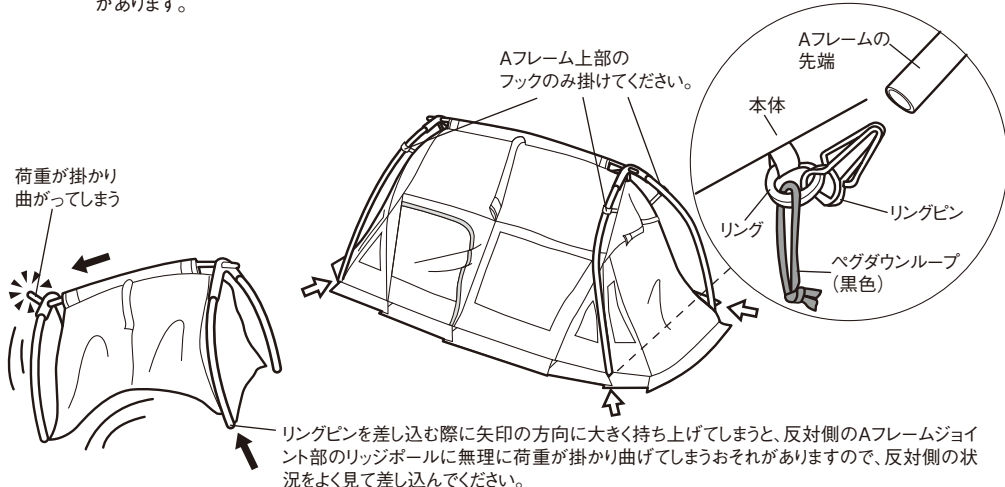
上から見た図

正面から見た図

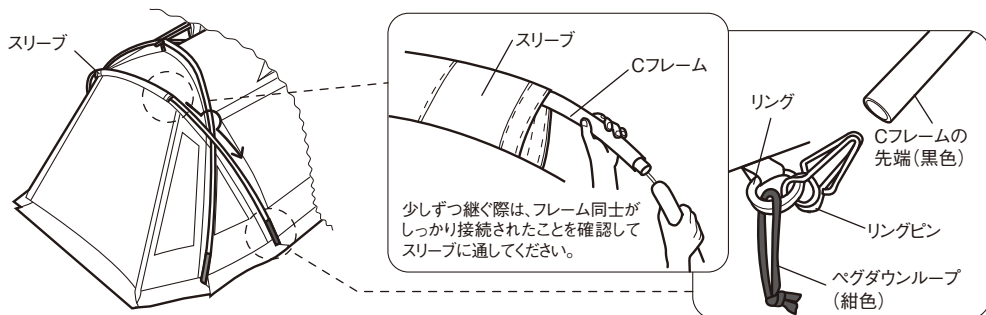


- ③ 本体の裾部にある黒色のベグダウングループが付いたリングピンを持ちAフレームに差し込んでください。(4ヶ所) 両側のセンターリングが付いているベルトを引いてテープのテンションを調節してください。この時にAフレーム上部のプラスチックフックをあらかじめ掛けてください。

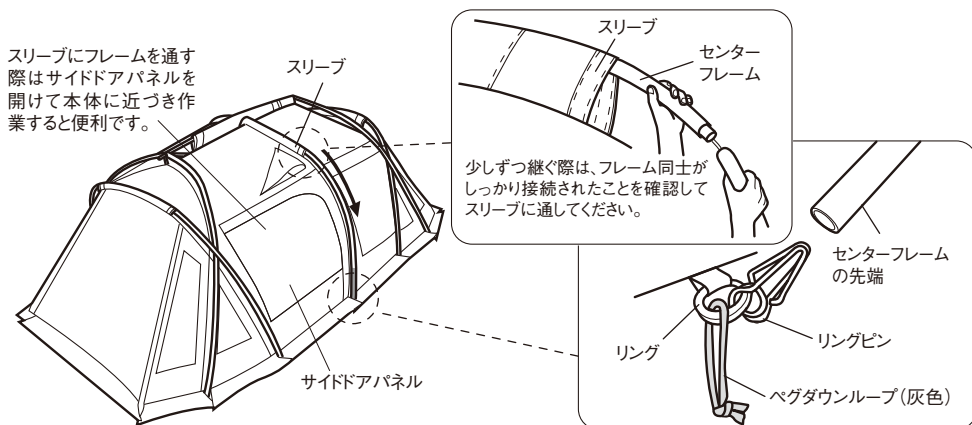
注) リングピンをAフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりと動かない様に持ち、指をはさまないように気をつけながら差し込んでください。フレームを持ち上げると反対側に荷重が掛かり、リッジポールの端部を曲げる危険があります。



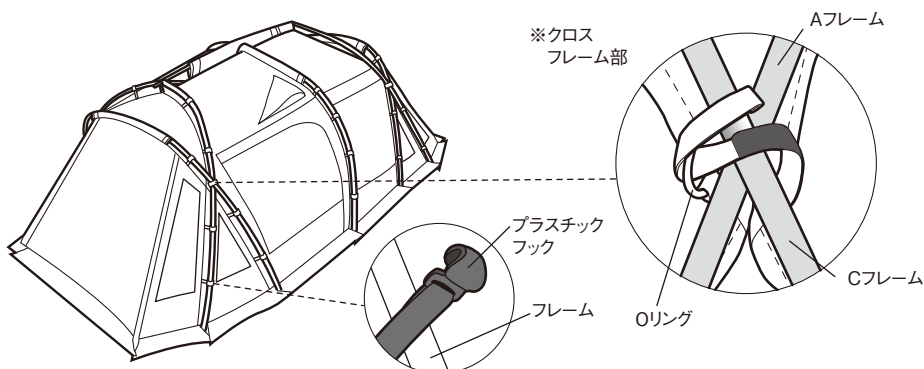
- ④ Cフレーム(一節目の差込部が紺色)を少しずつ継ぎ、スリーブに通してください。次に③同様に、Cフレームの先端に紺色のベグダウンループが付いたリングピンを差し込んでください。片側のCフレームを立てた後もう一方のCフレームも同様に立ち上げてください。
注)CフレームはAフレームの外側を通してください。



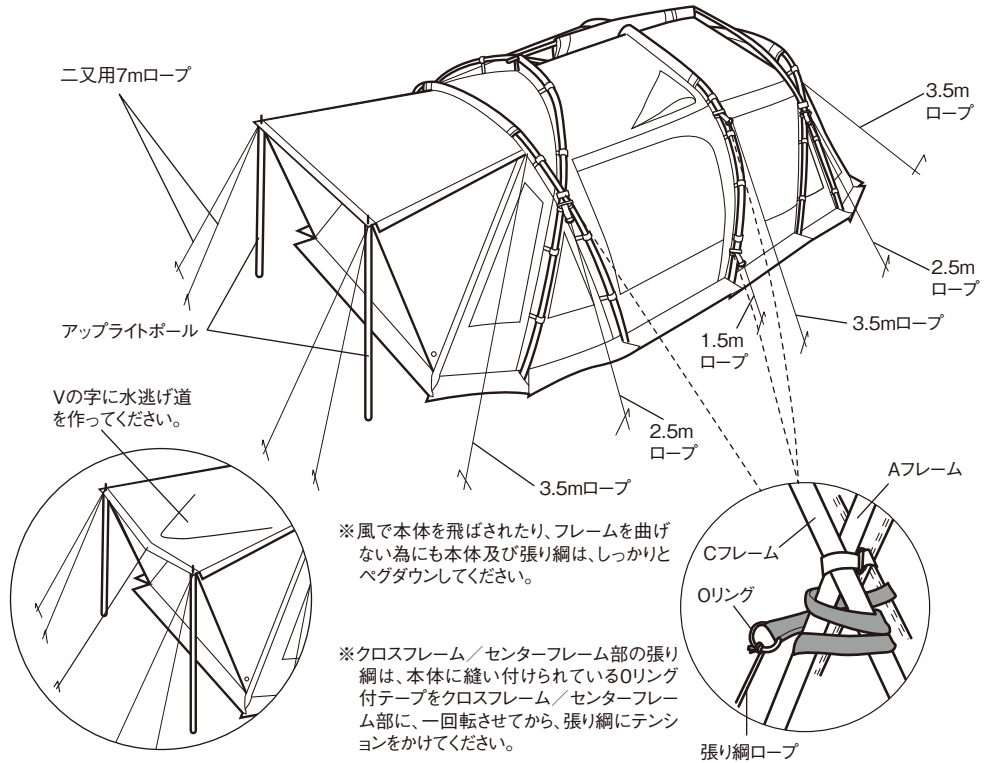
- ⑤ センターフレーム(一節目の差込部が灰色)を少しずつ継ぎ、本体センターのスリーブに通してください。次に③同様に灰色のベグダウンループが付いたリングピンをフレームの先端に差し込んでください。



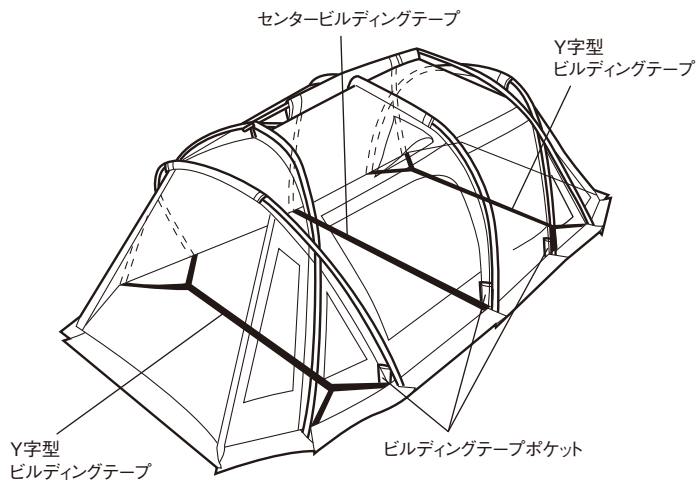
- ⑥ Aフレーム/Cフレーム/センターフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを掛けてください。クロスフレーム部はベルクロ付テープをOリングに通して固定してください。



- ⑦ 裾部リングピンに付いているベグダウン用ループ及びテープにベグを通し、全て室内側でベグダウンしてください。また、付属の張り綱ロープもしっかりとベグダウンしてください。出入口用ドアパネルを跳ね上げる場合は付属のアップライトポールを使い、二又ロープで立ち上げてください。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。
- ※降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますので、ポールを斜めに倒し勾配をつけるか、ポールを短く使い、前面中央を大きくV字にロープで下げ、水の逃げ道をつくり溜まらないようにしてください。

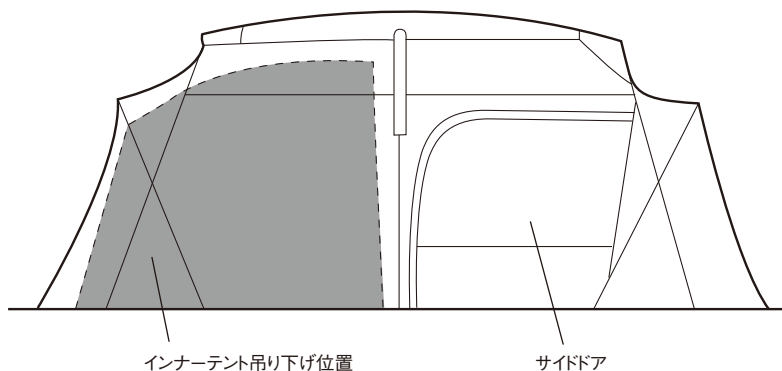


- ⑧ 必要に応じて最後にビルディングテープのバックルをはずし、テープをポケットに収納してください。(設営後にビルディングテープを外す場合は、必ず室内側にペグダウンをしてテンションを室内側にかけてください。)

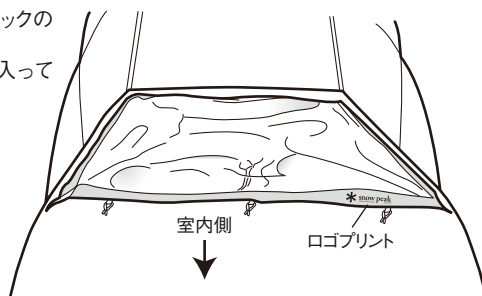


■インナーテントの設営

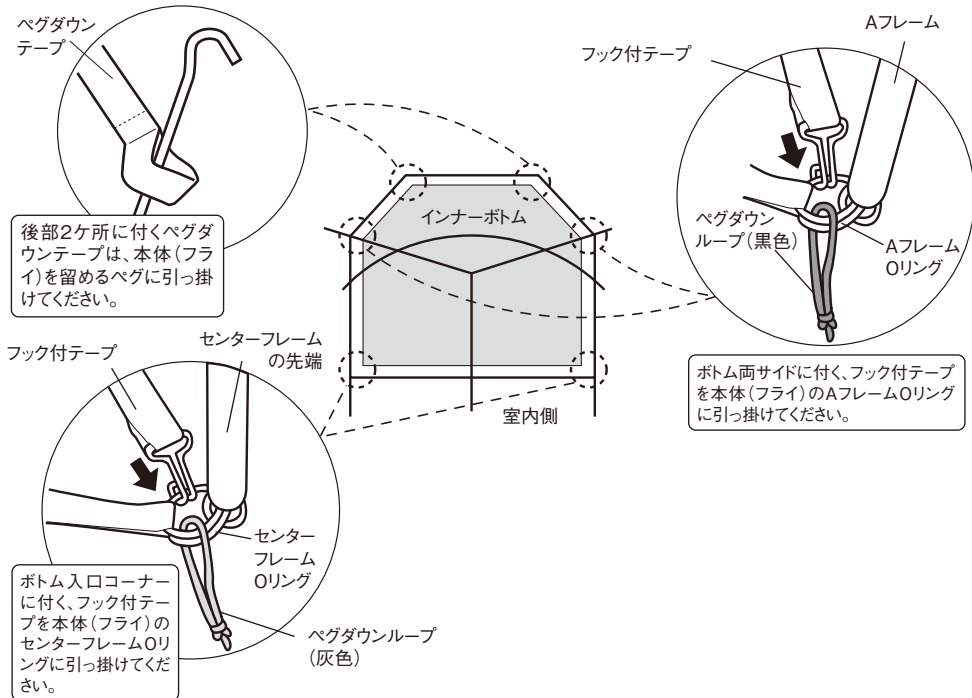
- ※インナーテントは、ランドロック本体のサイドドアが無い側の室内に吊り下げてください。
(サイドドア側には、インナーテント取付用のOリングがないので取付けられません。)



- ① インナーテントの前後を確認して、ランドロックの室内に広げてください。
(インナーテントはボトムにロゴプリントが入っている方が室内側になります。)

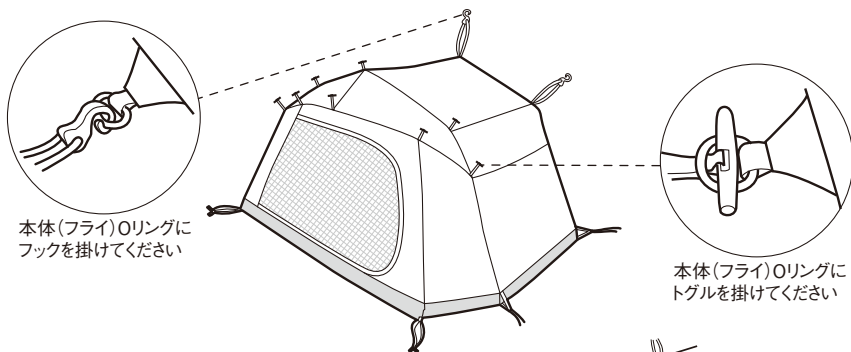


- ② インナーテント各ボトムコーナーに付くフック・ゴムループを本体(フライ)のOリング、ペグに引っ掛けてください。

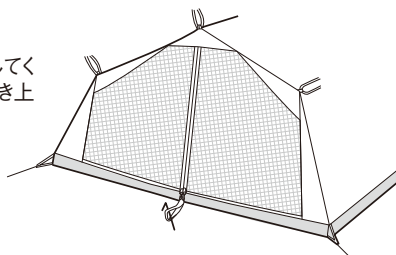


- ③ ボトムにあるすべてのフックを引っ掛けた後、フック付テープの長さを調整してインナールームを張ってください。

- ④ インナーテント上部に付くフック・トグルを本体(フライ)のOリングに全て引っ掛けてください。(11ヶ所)



- ⑤ 最後に出入り口下部にあるベグダウンテープをベグダウンしてください。このベグダウンをする事で、ドア開閉の際のボトム浮き上がりを軽減し、開閉しやすくなります。



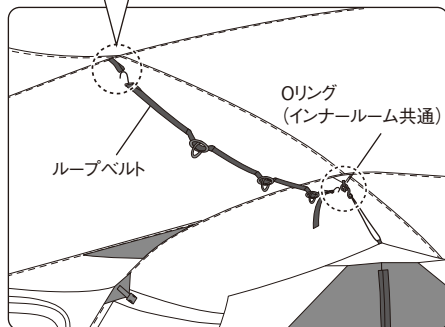
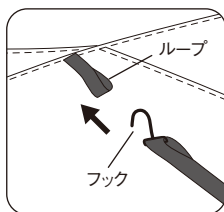
■ランタンテープハンガーの使用方法

インナーテントの付いていないリビング側の天井にランタンテープハンガーを取り付けてください。

※ランタンテープハンガーは張りすぎず、たるむように調節してください。ランタンテープハンガーを張りすぎると破損の原因となります。

※ランタンテープハンガーには小物を吊るすリングが付いています。全体で1kgを超えない範囲でご使用ください。

※ランタンテープハンガーはねじれがないように接続してください。



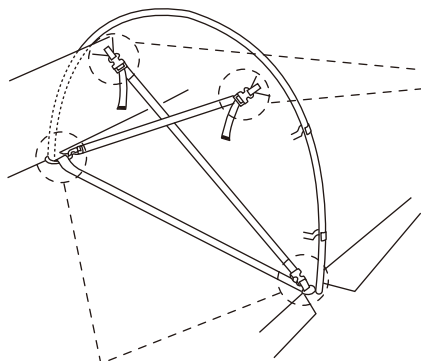
■セーフティーベルトの使用方法

本製品には、強風時に側面からの風に対して安定性を保つセーフティーベルトが付属されています。センターフレーム内側に下記のようにセーフティーベルトをセッティングしてください。

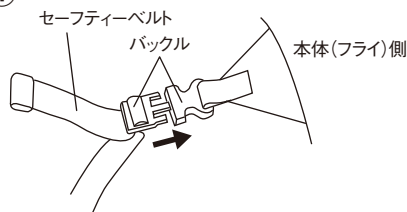


警告

セーフティーベルトはあくまでも補助対策です。あらゆる悪天候に耐えられるものではありません。一時的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティーベルトに体重をかけるなどしないでください。フレーム破損の原因となります。

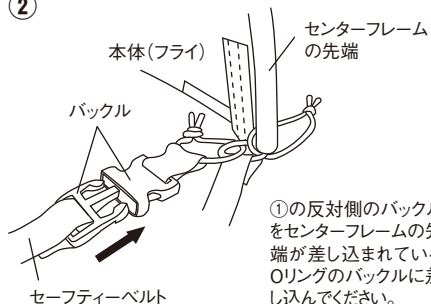


①



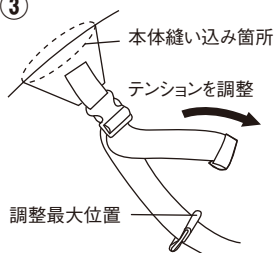
セーフティーベルト先端のバックルを本体(フライ)室内側上部のテープで縫い留められているバックルに差し込んでください。

②



①の反対側のバックルをセンターフレームの先端が差し込まれているOリングのバックルに差し込んでください。

③



最後にテープ全体にテンションが掛かるように、テープを調整します。この時、強く引きすぎると本体縫い込み箇所を破損する恐れがありますので調整最大位置を超えてテンションを掛けないようにしてください。

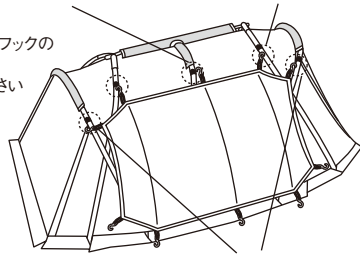
■シールドルーフの設営

■本体へのフッキング位置

センターフレーム上部フックの
Oリングに引っ掛けてください

Aフレーム上部フックの
Oリングに引っ掛けてください

Aフレーム上部フックの
Oリングに
引っ掛けてください



※図は片面のみにフッキングした状態

Cフレーム上部フックの
Oリングに引っ掛けてください

[シールドルーフ外側]

接続フック

シールドルーフ本体

フック付
セッティングコード

接続フック

フック付セッティング
コード

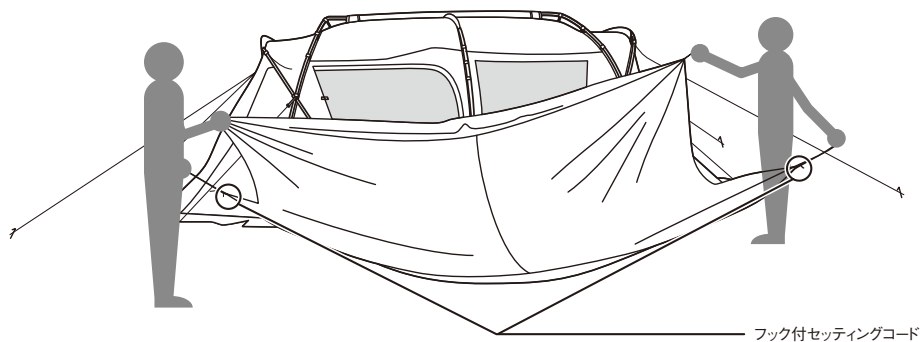
ランドロック本体の
プラスチックフック

フレーム

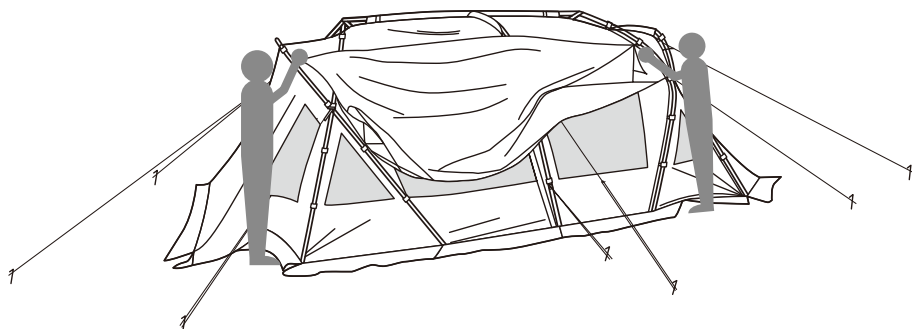
シールドルーフ
接続フック

シールドルーフの接続フックを、ランドロック本体の
フレームフックのOリングに引っ掛けてください。

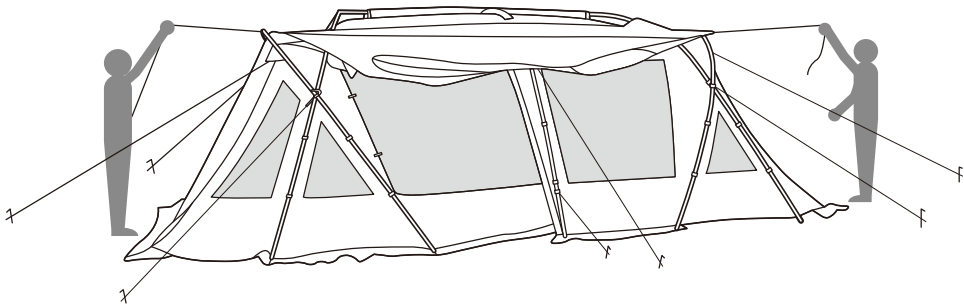
- ① 設営は2人以上で行ってください。
フック付きセッティングコードの位置を確認し、ルーフシート裏面(タグが縫製されている面)を上にして広げてください。



- ② ランドロック本体片側のCフレーム、Aフレーム、センターフレームの上部フックのOリングに、シールドルーフ接続フックをそれぞれ引っ掛けてください。(10P■本体へのフッキング位置参考)



- ③ 2人で、それぞれのフック付セッティングコードを持ち、ランドロックに被せてください。



- ④ 最後にランドロック本体をもう片側のCフレーム、Aフレーム、センターフレーム上部フックのOリングに、シールドルーフ接続フックを引っ掛けて完成です。セッティング後、フック付セッティングコードをAフレームとCフレーム交差部のOリングに引っ掛け、自在金具でテンションをかけてください。

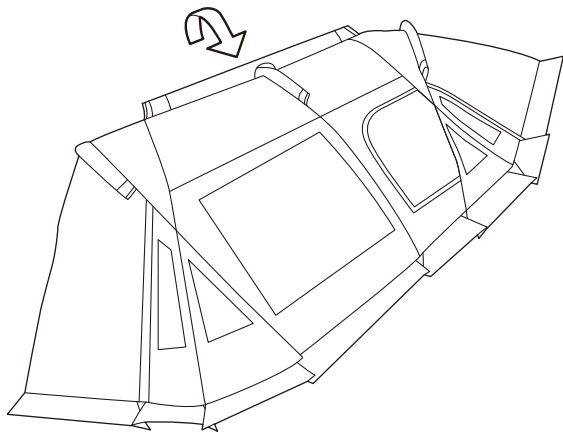


■キャリーバッグへの収納

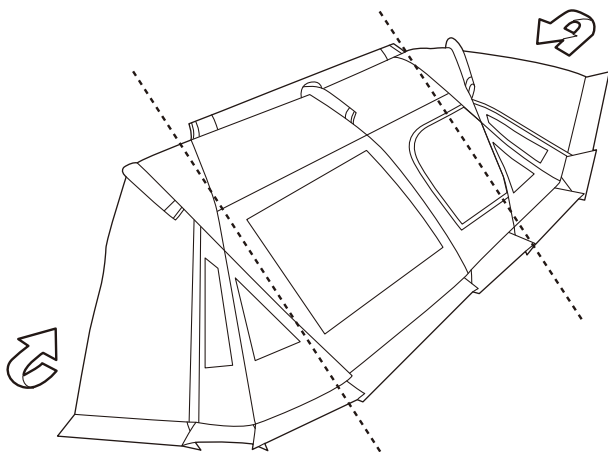
収納する際は、必ずインナーテントやシールドルーフ、ルーフベルトの本体と接続されているフックやトグルを外し、本体から取り外したあとに本体を撤収してください。

※フック付きセッティングコードはシールドルーフに取り付けて収納してください。

- ① センタースリーブを中心に2つ折りたたんでください。



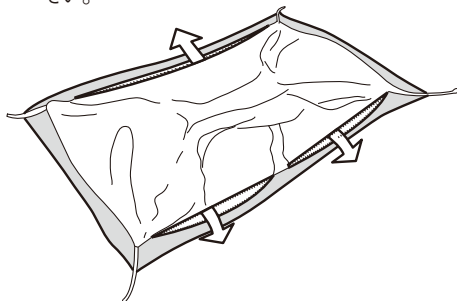
- ② 長方形になるように両サイドを内側にたたんでください。



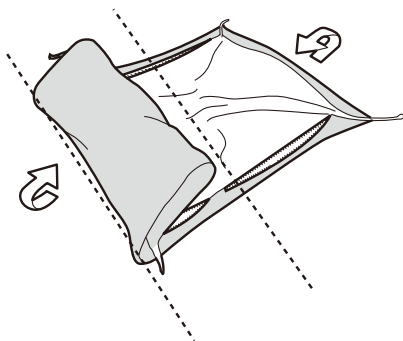
- ③ 長方形になった本体(フライ)を本体キャリーバッグに入る幅にたたんでください。



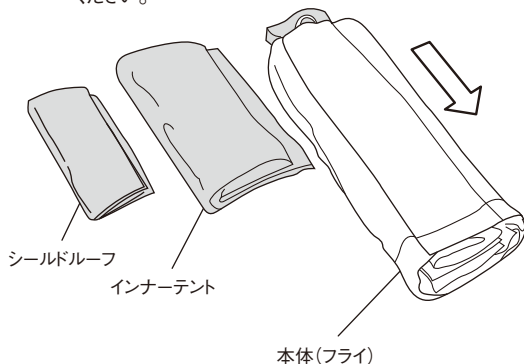
- ④ インナールームのドアパネル下部のファスナーは中の空気を抜きやすくするため空けておいてください。



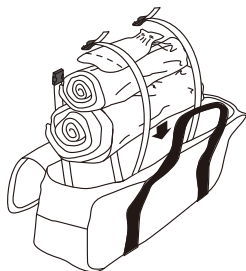
- ⑤ 本体(フライ)同様に、本体キャリーバッグに入る様にたたんでください。



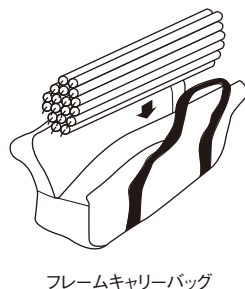
- ⑥ ケース幅になった本体(フライ)とインナーテント、シールドルーフを裾部に向かって空気を出す様に巻いてください。インナーテントは④で開けておいたファスナーに向かって、空気を出す様に巻いてください。



- ⑦ 本体(フライ)とインナーテント、シールドルーフをまとめて本体キャリーバッグに入れ、本体キャリーバッグに取り付けられているコンプレッションベルト2本で締めて全体を圧縮し収納してください。



- ⑧ フレームはフレームキャリーバッグへ収納してください。



撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルター内に何も無いこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にベグダウンしやすくなります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリアバッグ等を傷付けることがあります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなど長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合は、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレーム、ボールは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム、ボール内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレーム、ボールを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまふ場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

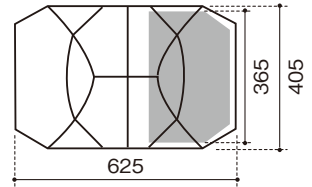
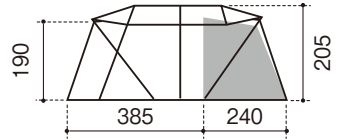
1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- セット内容:本体、インナールーム、ルーフシート、Aフレーム(×2)、Cフレーム(×2)、センターフレーム、リッジポール、アップライトポール(×2)、ジュラルミンペグ(21cm×31)、自在付ロープ(二又用7m×2、3.5m×6、2.5m×4、1.5m×2)、ランタンテーブルハンガー、セーフティベルト(×2)、シームグリップ剤、本体キャリーバッグ、フレームキャリーバッグ、ペグケース
- 材質:本体(ルーフ)・ルーフシート/210Dポリエステルリップストップ・PUコーティング耐水圧3,000mmミニマム・UVカット加工・撥水加工、本体(ウォール)/210Dポリエステルリップストップ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・UVカット加工・撥水加工、本体(スカート)/210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧450mm・撥水加工、インナーウォール/68Dポリエステルタフタ・撥水加工、ボトム/300Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧10,000mmミニマム・撥水加工、フレーム・ポール/A6061(φ19mm+φ22mm)
- 収納サイズ:本体キャリーバッグ:78×33×33(h)cm
フレームキャリーバッグ:72×18×23(h)cm
- 重量:33kg
- 対応人数:6名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Instruction Manual : Ver 1.00

TP-272-IV

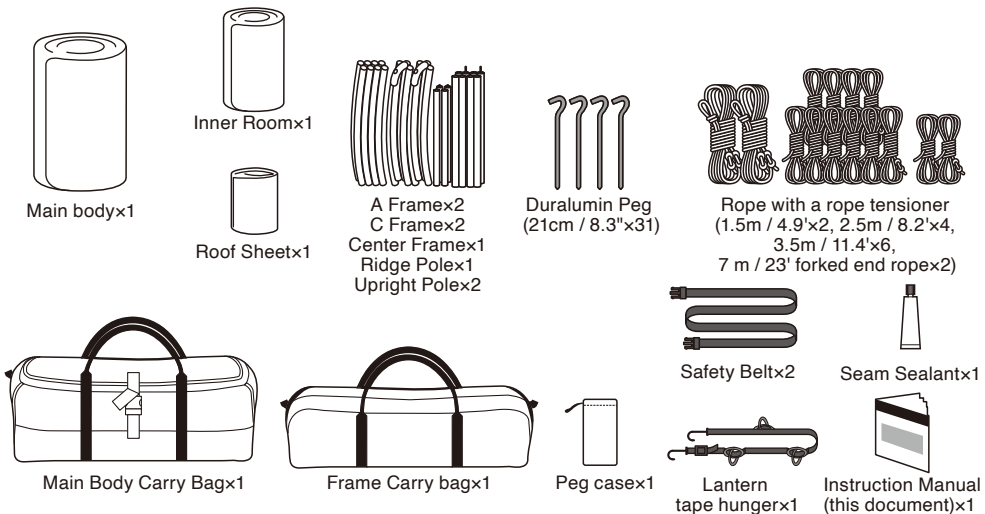
Perfect Land Lock in Ivory



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is shelter for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

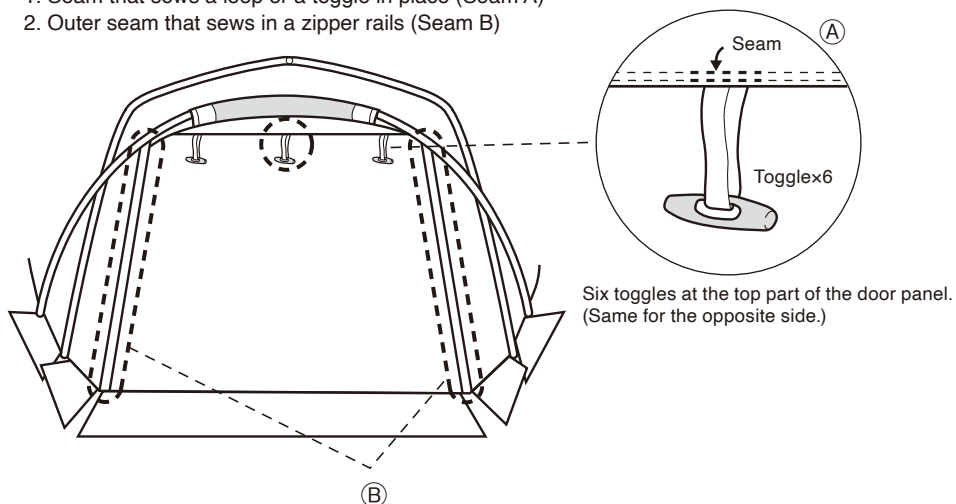
Contents * Make sure that all accessories are supplied before use.

■ The contents of the set are based on setting up the tarp in standard conditions. You should prepare some durable long pegs, spare ropes, and other accessories in order to make setup easier. Pegs, ropes, tensioners and similar accessories wear with use, so it is recommended to always carry spares.



■ The seams in the following parts of the product cannot be sealed completely due to structural reasons. Water may seep in from such seams. Prevent water seepage from the following parts and other outer sewn parts where water seepage is observed by applying a seam sealer.

1. Seam that sews a loop or a toggle in place (Seam A)
2. Outer seam that sews in a zipper rails (Seam B)



 DANGER: Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The material of this shelter is not flame-proof. Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves, or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters, or cigarettes, inside the shelter. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is hazardous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the shelter.
- When using a Snow Peak petroleum stove or petroleum hot plate (KH-001, KH-002, KH-100), be sure to keep the windows of the shelter open. Using a petroleum stove or petroleum hot plate in an enclosed space is very dangerous and can lead to serious accidents.

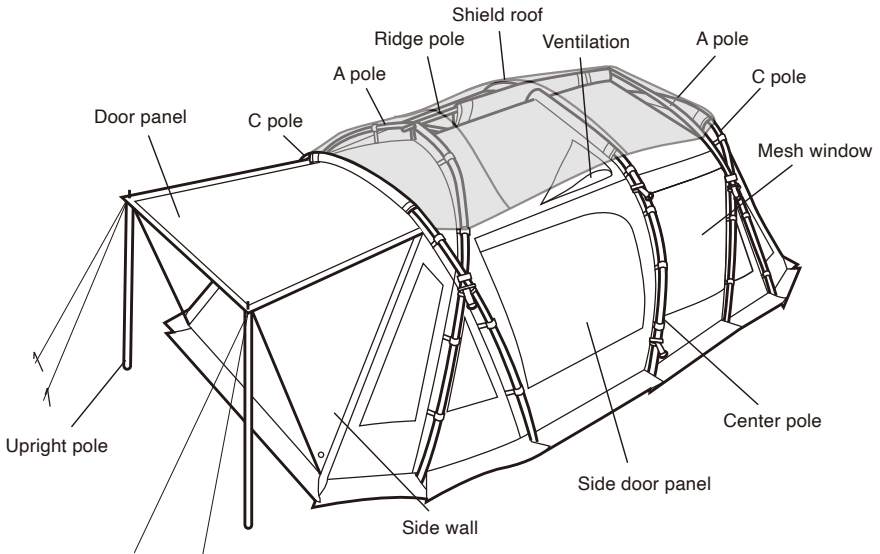
 WARNING: Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items into the shelter when they are at high temperatures. Inside the shelter, very high temperatures may cause heatstroke or fire.
- The temperature inside the shelter will be high during warm weather, and there is a risk of heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the shelter.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the shelter. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.

 CAUTION: Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use. If the shelter is left in the sun for long periods, the materials may fade in color, or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the shelter set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Use this product on a flat place with no sharp objects such as rocks with sharp edges or broken branches.
- Do not assemble or use the shelter close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- Firmly hold the shelter when assembling and disassembling. Unexpected accidents may occur due to the frame and pole ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity. Always assemble/disassemble this product with two or more people.
- Firmly secure the pegs, guy lines, etc.
- Because this product uses a thin fabric, it may break if you pull the fabric too much.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. You may catch your foot and fall, leading to an unexpected accident or injury.
- This product is not a self-supporting shelter. To withstand the wind and rain, it's important to tighten all the ropes following the instructions outlined in this manual.
- Chemicals may cause the PU coating to break down, which can significantly reduce the product's ability to withstand water pressure. If this occurs, there is no guarantee that the product will function as intended.
- Do not allow sap to stick to the product, as sap cannot be completely cleaned off. Avoid placing the product under trees that may drip sap. Using organic solvent such as paint thinner and benzene in an attempt to remove sap will damage the material and coating.
- The shelter and inner room has a loop for hanging small items. Please only hang items that weigh less than 1kg (2.2lbs).

Name of the Parts

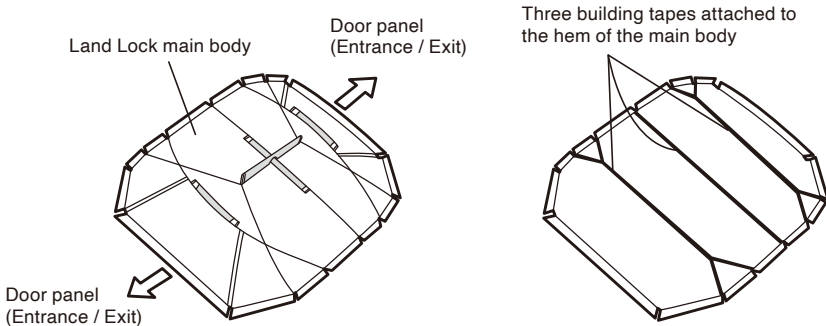


Setup procedure

[WARNING] Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.

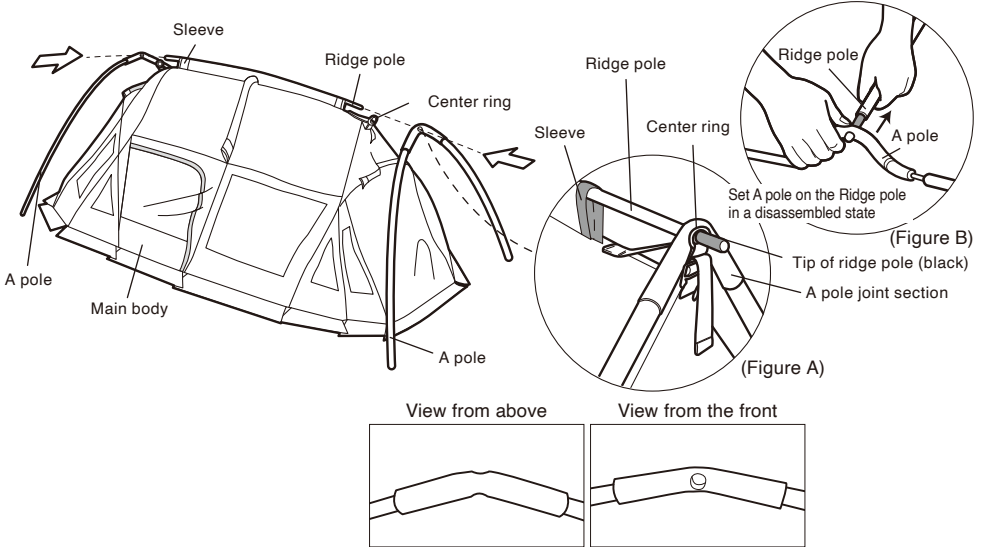
Make sure that two or more people take part in the setup.

- 1 Spread the main body on a flat area. Consider the orientation of the two doorway panels.
Note: Make sure all three building tapes are buckled. If it is disconnected, make sure to connect them before setup.



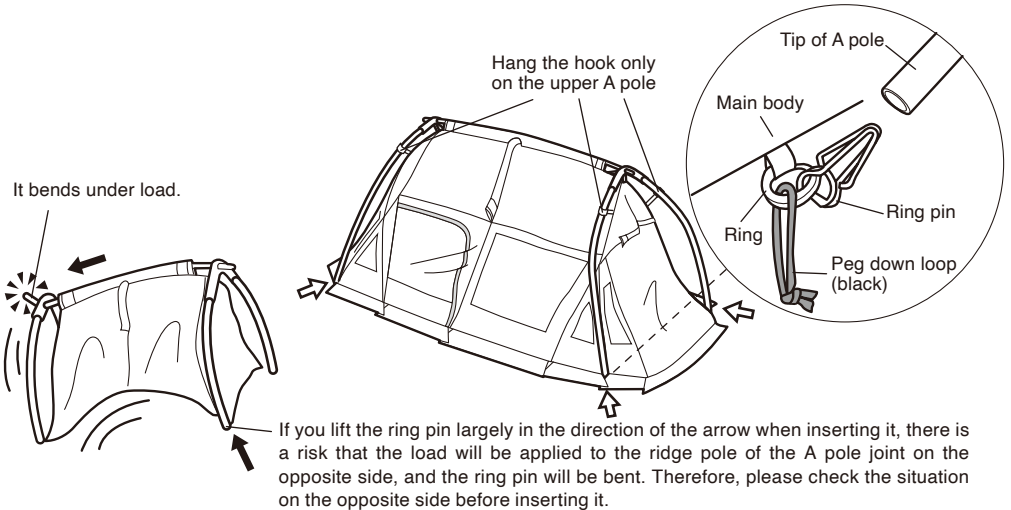
② First, insert the ridge pole (with black tip) into the center sleeve. Next, insert the ridge pole into the A pole (first segment has a black insertion end) while paying attention to the direction of the joint. Make sure that the end of the ridge pole is completely inserted into the A pole joint section, and push the center ring in to hold it in place. (Figure A) The tape of the center ring is loose, with no tension applied, at this point. Next, insert a ridge pole into the A pole on the opposite side.

Note: When setting the A pole on the ridge pole, do not set it after connecting all the A poles, and set it on the ridge pole while leaving the left and right upper ones apart. (Figure B) By setting it and then starting to raise the A pole, you can reduce the stress on the joint and set it up easily.

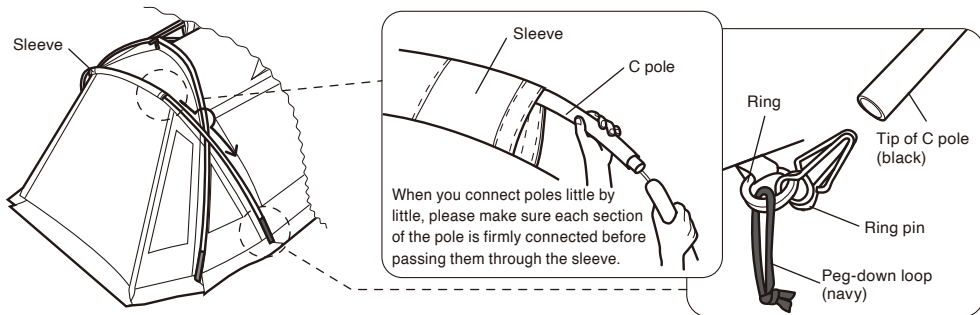


③ Hold the ring pin with a black peg-down loop, found at the bottom of the main body, and insert it into the A pole. (Four locations) Adjust the tension of the tape by pulling the belt on the center ring on both sides. Here, attach the plastic hook at the upper part of the A pole in advance.

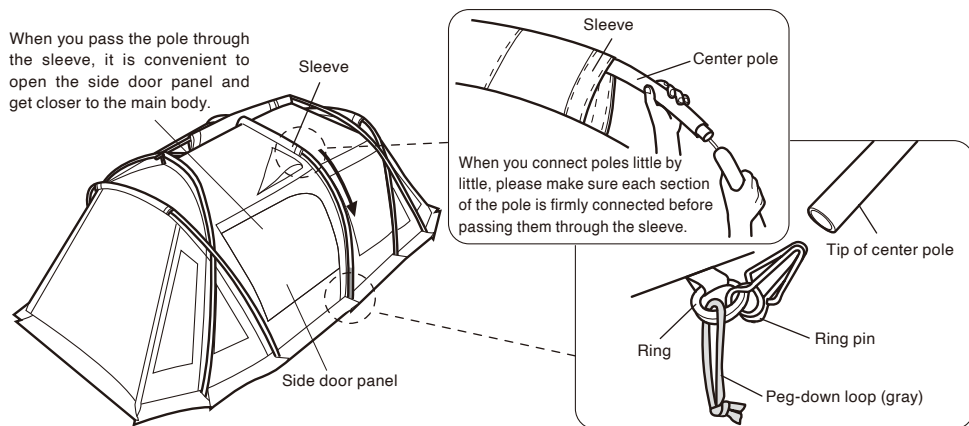
Note: When inserting the ring pin into the A pole end, hold the pole ends firmly so that it does not move, and insert carefully so that your finger does not get caught. If you lift the pole, a load will be applied to the opposite side, and there is a risk of bending the end of the ridge pole.



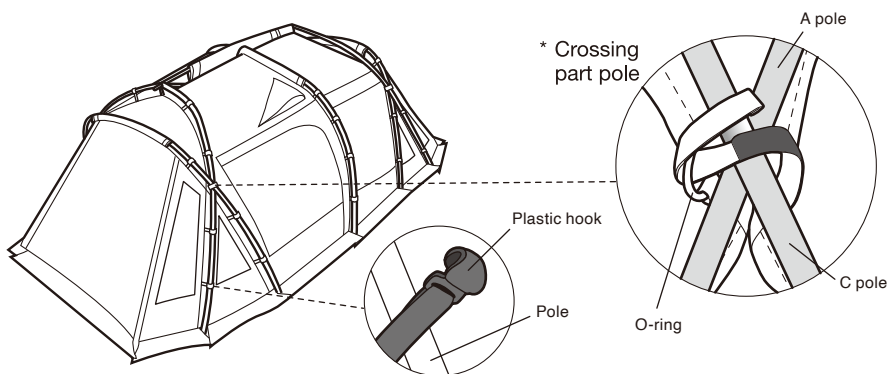
- 4** Join the C pole segments (first segment has a navy insertion end) one by one and pass the pole through the sleeve. Next, likewise in step ③, insert the ring pin with a navy peg-down loop into the tip of the C pole. After setting up the C pole on one side, set up the C pole on the other side.
 Note: Pass the C pole over the A pole.



- 5** Join the center pole segments (first segment has a gray insertion end) one by one and pass the pole through the center sleeve. Next, likewise in step ③, insert the ring pin with a gray peg-down loop into the tip of the pole.

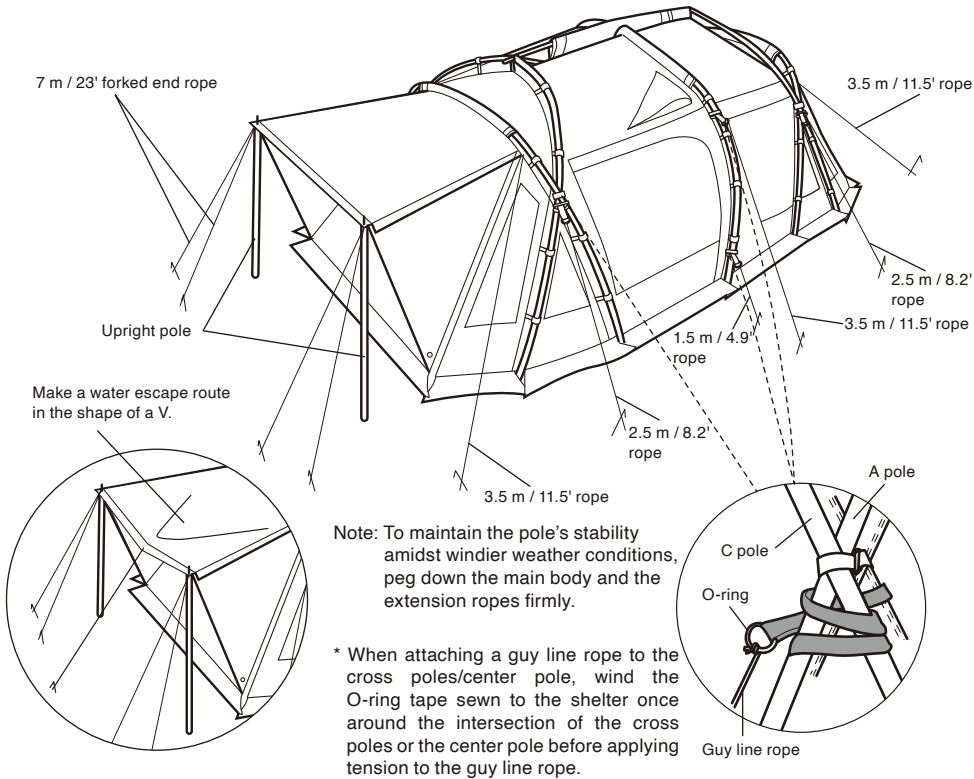


- 6** Please hook the plastic hooks from top to bottom to the A pole / C pole / center pole. Fix the crossing part of poles with tape with Velcro through the o-ring.



7 Pass the peg through the peg-down loop and tape attached to the bottom ring pin and peg down the product from the inside. Also firmly peg down the supplied guy line ropes. To flip up the door panel, use the supplied upright pole to keep it upright using a forked rope. Adjust the direction of the ropes to prevent wrinkles.

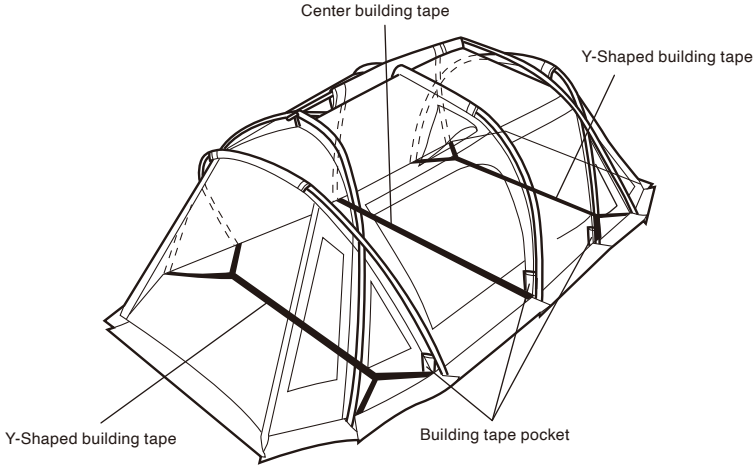
* Rainwater can puddle on the door panel. Tilt the poles to make a steeper gradient or shorten the height of the upright poles to enable the center front to be pulled down by a rope in a V-shape to release water.



Note: To maintain the pole's stability amidst windier weather conditions, peg down the main body and the extension ropes firmly.

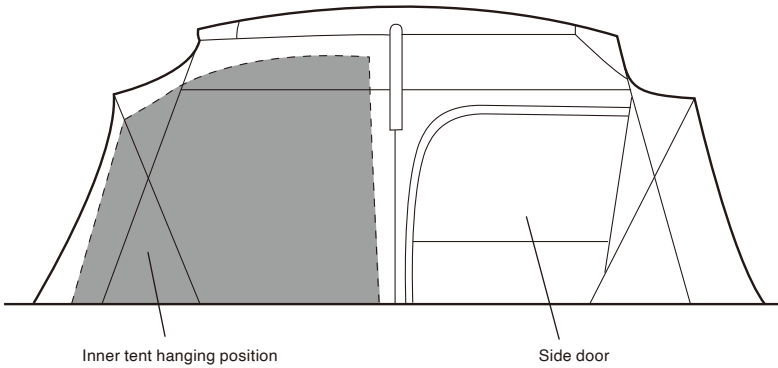
* When attaching a guy line rope to the cross poles/center pole, wind the O-ring tape sewn to the shelter once around the intersection of the cross poles or the center pole before applying tension to the guy line rope.

- 8 If necessary, unbuckle the building tape and store the tape in the pocket. If you remove the building tape after setting up, be sure to peg down inside and apply tension.

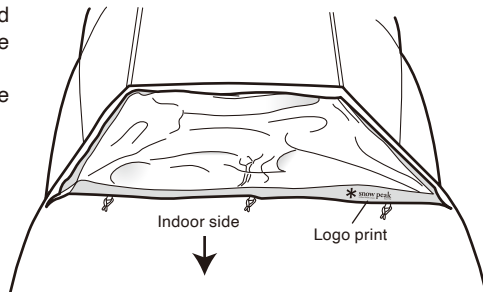


■ Setting up the inner tent

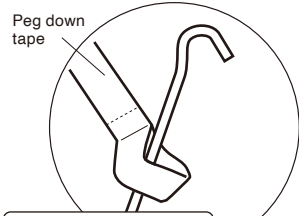
- * Hang the inner tent inside the side of the Land Lock shelter that does not have the side door. (The side with the side door does not have the O-ring for attaching the inner tent.)



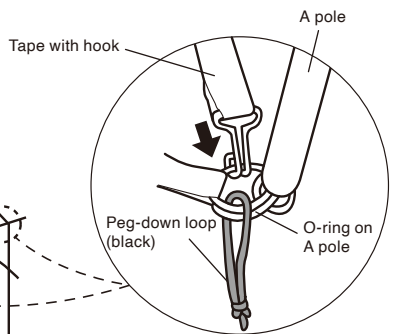
- 1 Spread the inner tent inside the Land Lock shelter while making sure that the orientation is correct. (The side with the logo printed on the bottom faces the inside.)



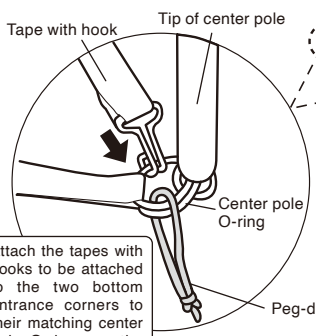
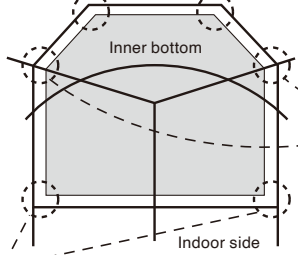
- 2** Each hook and rubber loop will be attached to their matching bottom corner in the inner tent. Attach these hooks and rubber loops to the respective O-rings and pegs on the flysheet.



The peg-down tape at the rear two places should be hooked to the pegs that hold the main body (fly).



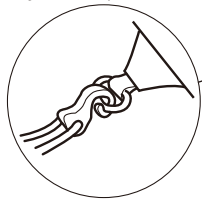
Attach the tapes with hooks to be attached to the two bottom sides to their matching A pole O-rings on the flysheet.



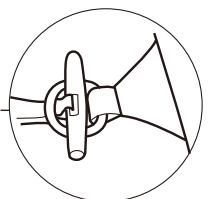
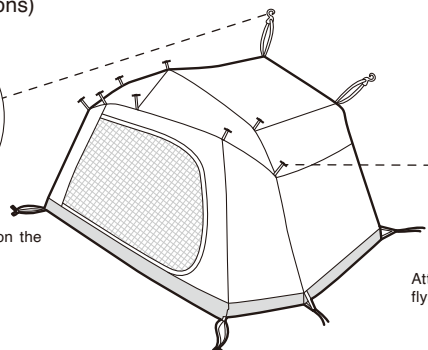
Attach the tapes with hooks to be attached to the two bottom entrance corners to their matching center pole O-rings on the flysheet.

- 3** After attaching all the hooks at the bottom, adjust the length of the tapes with hooks to apply tension to the inner tent.

- 4** Attach all the hooks and toggles to be attached to the upper part of the inner tent to the O-rings on the flysheet. (11 locations)

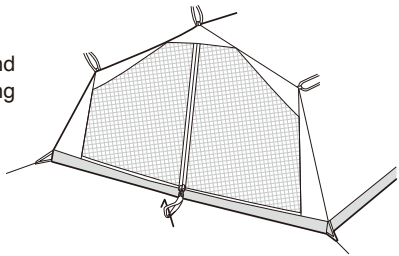


Attach the hook to the O-ring on the flysheet



Attach the toggle to the O-ring on the flysheet

- 5** Peg down the tape at the bottom of the entrance and exit. By pegging down, you will reduce the floating when opening and closing the door.



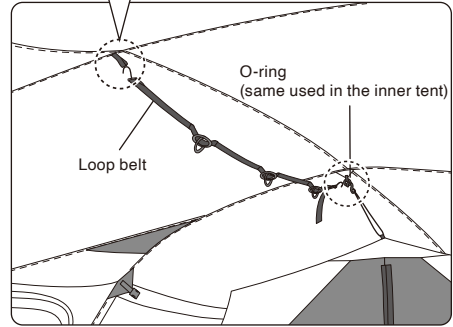
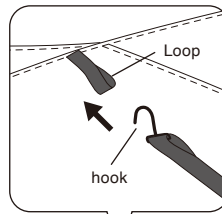
■ Using the lantern tape hanger

Attach the lantern tape hanger to the ceiling of the living room side (side without the inner tent).

* Adjust the tension of the lantern tape hanger so that it slacks. Too much tension on the lantern tape hanger may result in breakage.

* The lantern tape hanger has a ring for hanging small objects. You can hang objects up to a total of 1 kg.

* Make sure that the lantern tape hanger is not twisted when connecting to the ceiling.

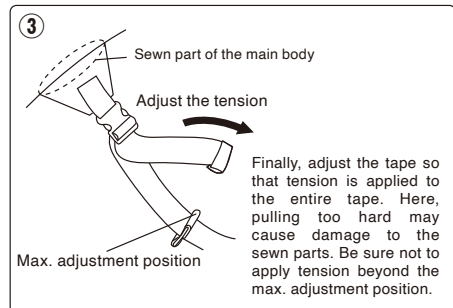
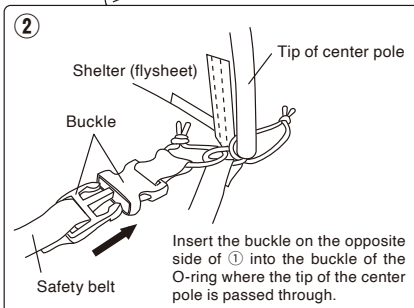
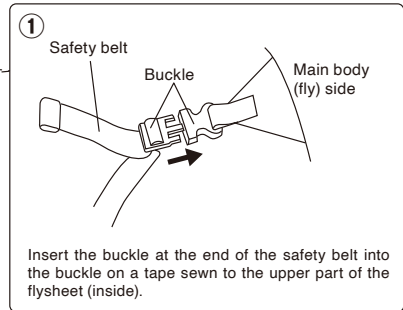
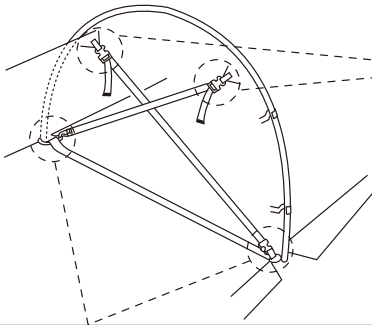


■ Using the safety belts

This product is supplied with safety belts that help protect the shelter against strong wind from the sides. Set the safety belts as shown in the pictures below inside the center pole.

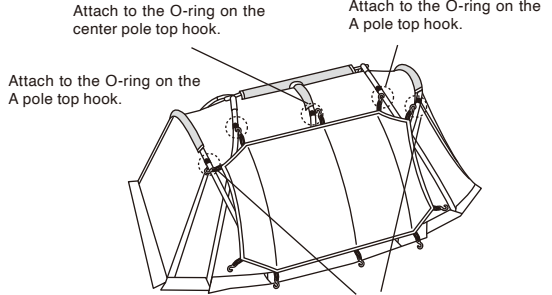
⚠ WARNING

Safety belts are no more than a supplementary protective measure and do not help withstand extreme weather conditions. They should only be used for temporarily strong wind conditions or when the shelter cannot be taken down right away. Do not put your weight onto the safety belts. It may result in damaging the pole.

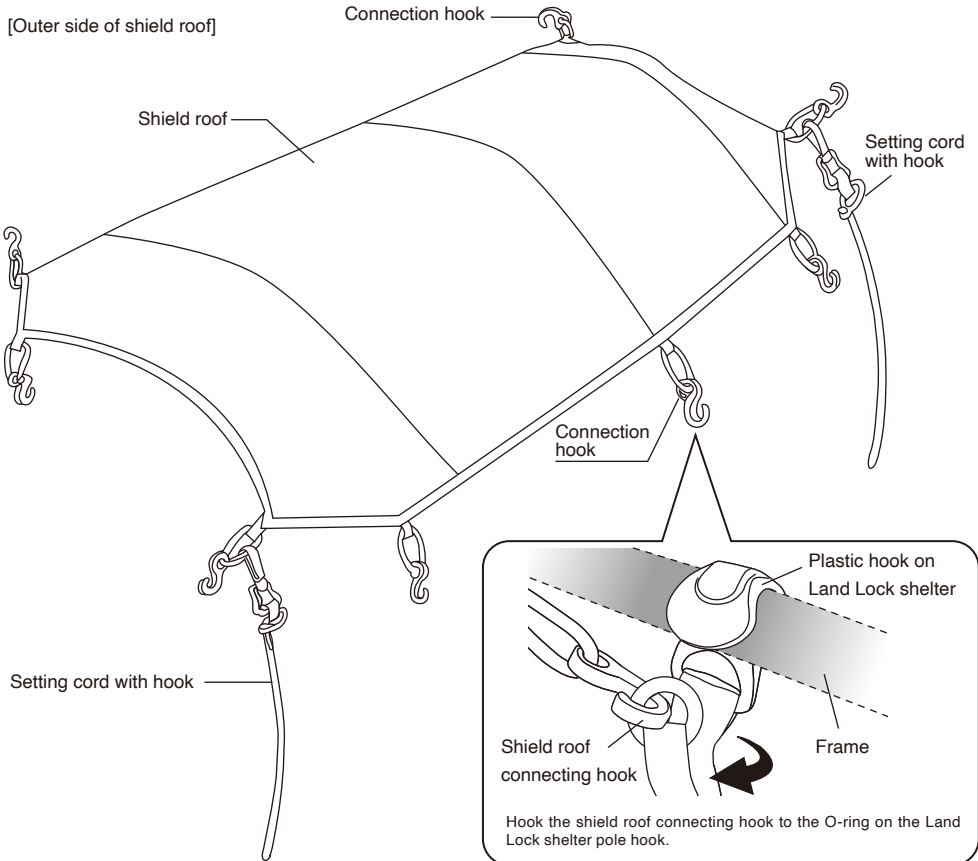


■ Setting up the shield roof

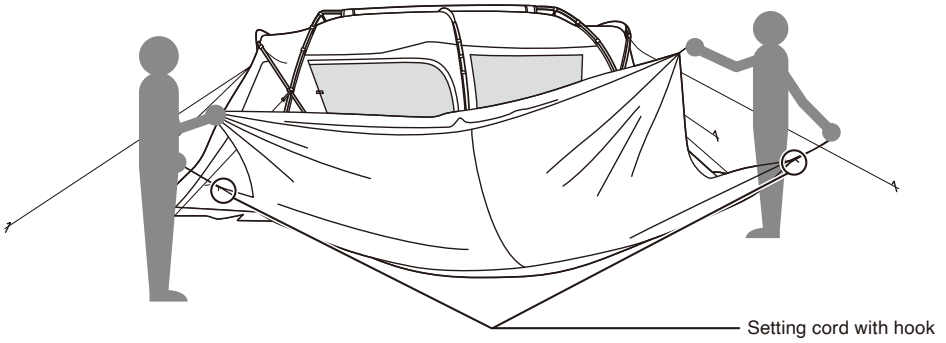
■ Shelter hooking locations



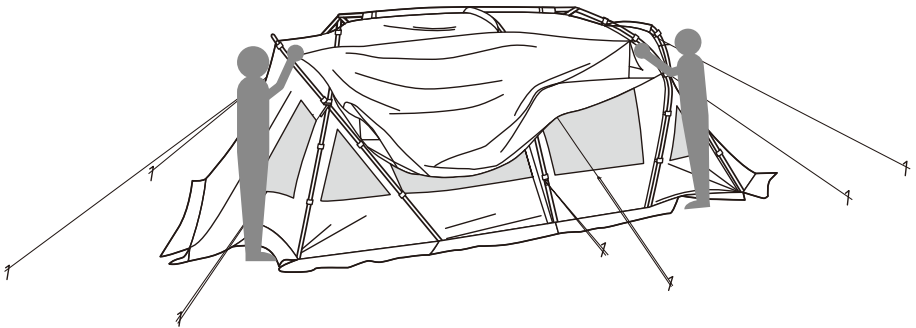
* The figure shows the shield roof hooked only to one side.



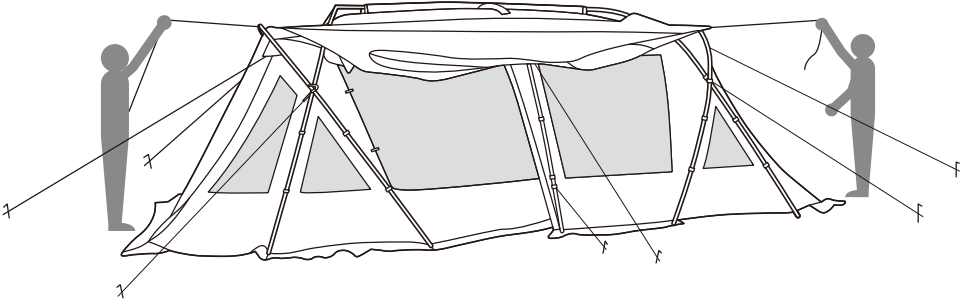
- ① Make sure to work with two or more people when setting up this product. Check the position of the setting cords with hooks, and spread the roof sheet with the back side (side with the tag sewn on) facing up.



- ② Hook a shield roof connecting hook to each of the O-rings of the C pole, A pole, and center pole top hooks on one side of the Land Lock shelter. (28P ■ Shelter hooking locations in the figure on the left)



- ③ Have each of the two people hold a setting cord with hook and cover the Land Lock with the roof sheet.



- ④ Finally, hook a shield roof connecting hook to the O-rings of the C pole, A pole, and center pole top hooks on the other side of the Land Lock shelter to complete the setup. After setting up the shelter, attach the setting cord with hook to the O-ring at the intersection of the A pole and C pole and apply tension using the tensioner.

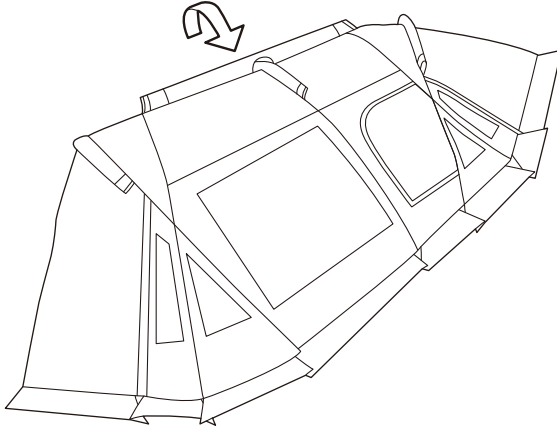


■ Storing the product in the carrying bag

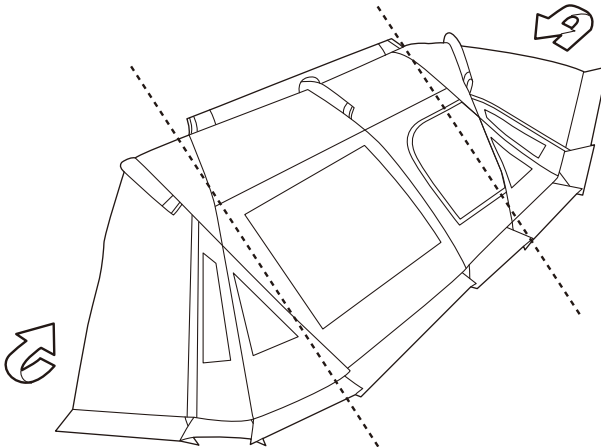
When storing this product, always remove the hooks and toggles connecting the inner tent, shield roof, and loop belt to the shelter before packing up the shelter.

* Attach the setting cord with hook to the shield roof for storage.

- 1 Fold the main body in half with the center sleeve as centered on top.



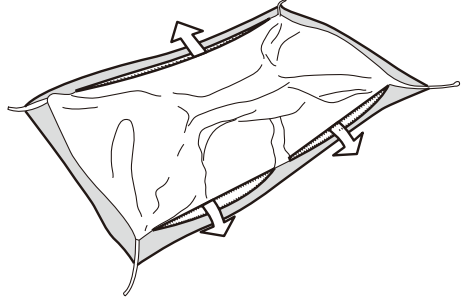
- 2 Fold the sides inward to form a rectangle.



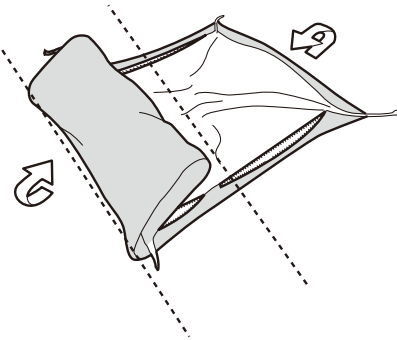
- ③ Fold the rectangular main body (fly) to a width that fits into the carry bag.



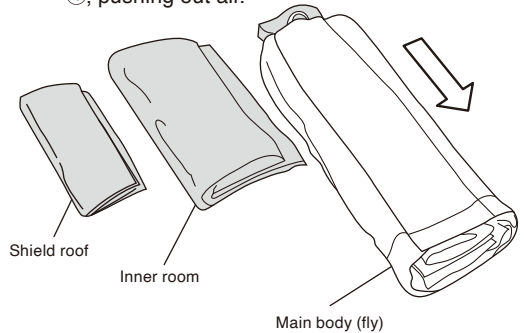
- ④ Leave the zippers at the bottom parts of the inner tent door panel open to release air.



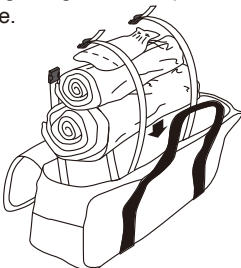
- ⑤ As with the main body (fly), please fold it to fit into the carry bag.



- ⑥ After folding the flysheet, inner tent, and shield roof into a width that fits into the case, roll them up respectively in the direction of the hem while pushing out air. When doing so, roll up the inner tent toward the zipper that was left open in step ④, pushing out air.

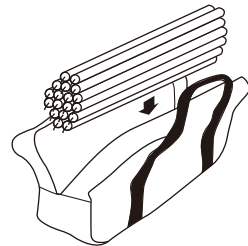


- ⑦ Put the flysheet, inner tent, and shield roof together into the shelter carrying bag and hold them in place by using the two compression belts attached to the carrying bag to compress them for storage.



Shelter carrying bag

- ⑧ Store the poles in the pole carrying bag.



Pole carrying bag

Precautions for Disassembly and Storing

- Please make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the shelter.
- If you have attached an inner room, be sure to remove the inner room or any other products from the shelter before disassembling it.
- Please ensure nothing is inside the shelter and that all panels and windows are closed.
- Please ensure that all belts are connected before taking down the shelter. Connecting the belts makes it easier to peg down the shelter next time.
- Please fold frames & poles from the center each time. If you fold the frame & pole from the edges, the shock cord inside the frame & pole may stretch or break, causing the frame & pole to bend or break.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all frames in the frame case. If the frame is exposed, it may damage the fabric or the carry bag.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the shelter is in use.

Water-Repellent and Waterproof Functions

- The fabric of the shelter is treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose effectiveness after repeated use. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Although this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it if it is in contact with water pools on the ground for a long time.
- The PU coating may be damaged by agricultural chemicals, which cause the water pressure resistance to decrease abnormally. Please note that the product cannot be subject to warranty if damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- A UV protection treatment has been applied to the material of the shelter.
*The UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the deterioration of the material's strength.
- When the shelter material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

Maintenance & Storage

- When using a product that has been in storage for a long time, carefully check each part. If you have any questions, please contact Snow Peak Customer Service.
- A polyester fabric blend is used for this product. Considering the material characteristics, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration, and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the frames & poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant; applying an excessive amount of lubricant will stain the cloth. Ensure that the cords inside the frames & poles are not pulled unnecessarily.
- When storing the frames & poles, please fold them from the center outwards.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and humidity.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Do not apply excessive amounts of lubricant as it will leave stains on the cloth.
- Small areas of fabric damage can be fixed with repair tape. Please read the repair tape manual carefully before applying.
- Depending on the conditions during use, the shelter material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents damage to the PU coating. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is found, set an iron at a low temperature and reattach only the peeling sections. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. If the PU coating peels off completely, it may be impossible to repair.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain the product (including all accessories such as the pegs).

Warranty

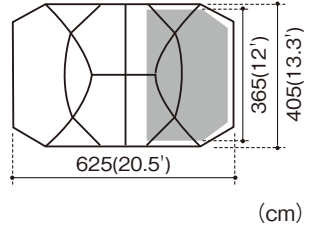
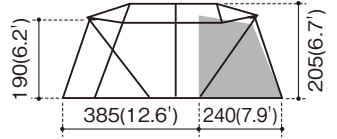
Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following: 1. Material deterioration caused by age. / 2. Damage caused by modifications or rough handling. / 3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual. / 4. Damage caused by unexpected accidents. / 5. Any damage other than defects in the manufacturing process. / 6. Damage caused by dust or rust. / 7. Damage and defects caused by dismantling the product. / 8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks. / 9. Deterioration or failure of parts due to friction. / 10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Specifications

- Set contents: Main body, Inner Room, Roof Sheet, A Frame (x2), C Frame (x2), Center Frame, Ridge Pole, Upright Pole (x2), Duralumin Peg (21cm / 8.3"x31), Rope with a rope tensioner (1.5m / 4.9'x2, 2.5m / 8.2'x4, 3.5m / 11.4'x6, 7 m / 23' forked end ropex2), Lantern tape hunger, Safety Belt (x2), Seam Sealant, Main Body Carry Bag, Frame Carry bag, Peg case
- Material: Main Body (Roof), Roof Sheet/ 210D Polyester Ripstop, PU coating Waterproof rating: 3,000mm minimum, Water repellent finish, UV protection treatment, Main Body (Wall)/ 210D Polyester Ripstop, PU coating Waterproof rating: 1,800mm minimum, Water-repellent finish, UV protection treatment, Main Body (Skirt)/ 210D polyester Oxford, PU coating, Waterproof rating: 450mm minimum, Water repellent finish, Inner Wall/ 68D Polyester Taffeta, Water repellent finish, Bottom/ 300D Polyester Oxford, PU coating Waterproof rating: 10,000 mm minimum, Water repellent finish, Frame, Pole/ A6061 (φ19mm+φ22mm)
- Storage Size: Main Body Carry Bag: 78x33x33(h)cm / 30.7"x13"x13"(h)
 Frame Carry Bag: 72x18x23(h)cm / 28.3"x7"x9"(h)
- Weight: 33kg / 72.8lbs
- Capacity: 6 people



(cm)

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
 Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
 Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
 Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
 www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA